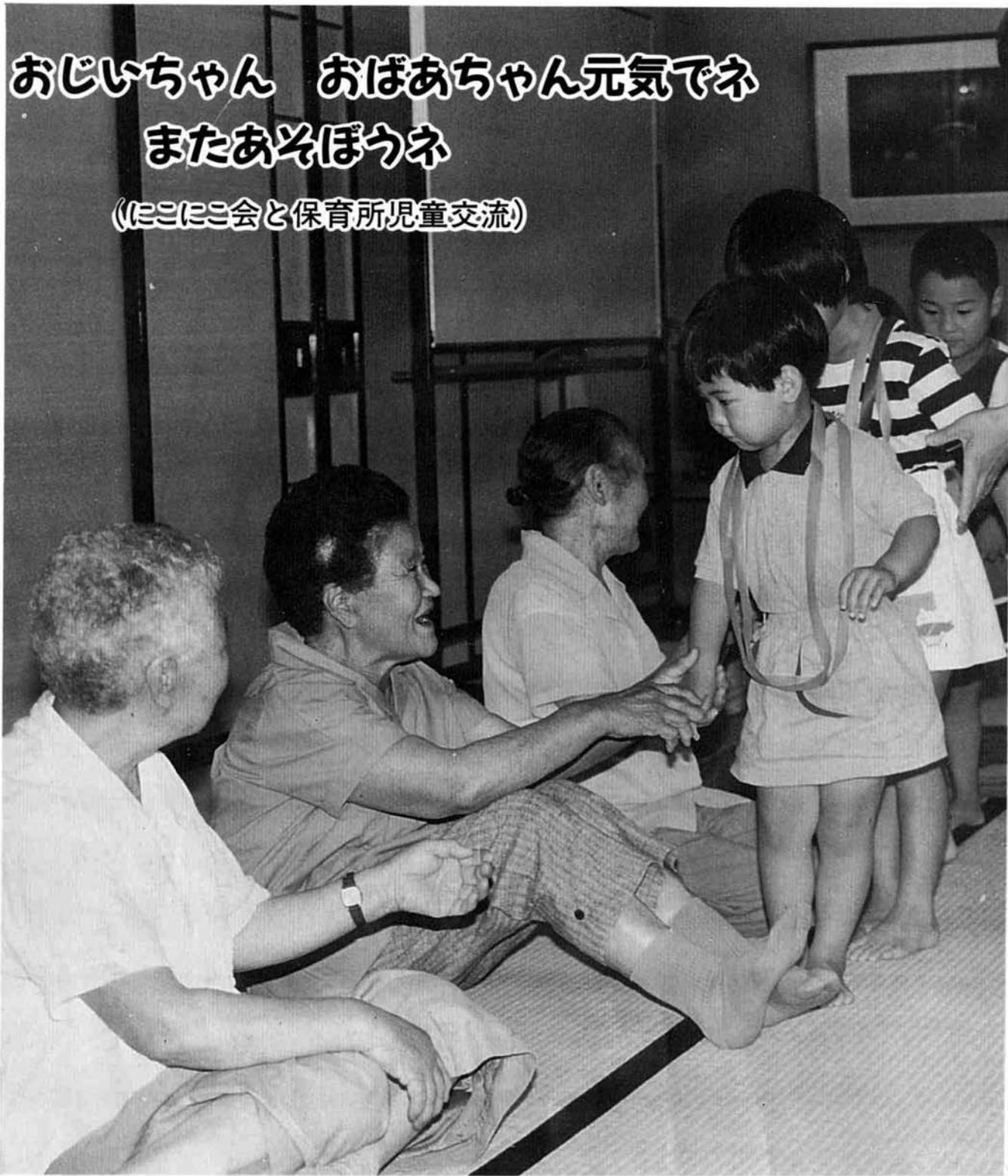


おじいちゃん おばあちゃん元気でネ

またあそぼうネ

(にこにこ会と保育所児童交流)



人口の動き (4.7.31現在) ■人口 2,854人(△5) 男 1,433・女 1,421 ■世帯数 785(+1)
■7月中のうごき □出生2 □死亡2 □転入6 □転出11

普及所から 農改コーナー

今年は穂数も多く、病害虫の発生も少なく、農作が予想されます。適期に刈取り、適正な乾燥調整で品質の良い米を出荷しましょう。

水稲の刈取りについて

毎年、早生は刈遅れ、中生は早刈りの傾向になっています。適期刈取りに努めましょう。

○外観から見た刈取り適期
穂の90%が黄化し、穂の基部に緑色の一部残っている頃です。葉の色で判断しないでください。

○胸割れ防止
胸割れ米は等級格下げの原因になるだけでなく、精米時の砕粒の発生原因になり、食味を落とします。乾燥水分を一時間当たり0.8%以内を抑えること、特に急激な乾燥はさけてください。

品種名	収穫適期のめやす	
	出穂後日数(日)	積算気温(日)
カワカキ	40-42	1,080
ヒノシ	36-38	950
コシヒカリ	38-40	975
コシは	38-40	975
新	42-44	1,025

○成熟期間から見た刈取り適期
上表を参考に刈取り計画を立ててください。

○乾燥について
乾燥温度は低めに。高温乾燥は食味を劣化させます。食味を低下しない乾燥温度は、初期水分24%で50℃以下、初期水分8%で60℃(1.5時間)です。

○調整について
ちよつとしたことで品質の低下をまねきますので注意してください。

○調整について
稲すりは常温近くになってから行い、脱ぶ率が80、85%になるように調節しましょう。

お知らせ

県総合体育大会 種芋原チーム三位に

八月二十三日新潟県スポーツ少年団総合体育大会が十日町市民体育館などで開かれました。小学生のバドミントンの部には男女三五チームが参加。種芋原チームは日ごろきたいた技を発揮し、男女とも三位に入賞しました。

秋のエイズ登場 当歳田上り品評会

山古志漁協青年部(五十嵐千人会長)の事業として今年も、錦鯉の当歳田上り品評会が次のとおり行われます。

- 期日 九月六日(日)
- 会場 山古志村役場前
- 出品資格 村内錦鯉生産者
- 出品規格 当歳で品種大きさは問わず。ただし一人五尾以上
- 受付・搬出 受付午後一時から搬出は午後四時の予定
- 出品料等 無料。ただし自分の出品鯉を入れる桶を持参のこと
- 審査の品種区分 紅白、三色、昭和写り物、光り物、金銀鱗、変り物の六品種

ことしも行政相談所を次のとおり開きます。心配ごと相談委員や長岡社会保険事務所の国民年金担当者も加わり「合同行政相談」としてみなさんの相談に応じます。行政に対する苦情や心配ごと、国民年金に関する相談などがありましたらお気軽においでください。

日時・場所
十月七日(水)
午前九時三〇分～十二時
種芋原公民館
午後一時～四時
役場村民相談室

開発行為は届出を

さる七月二十一日村の農業委員会で、村内の農用地利用状況を現地調査をしたところ、村の基幹産業である錦鯉の養殖を目的とした大型の池が造られているのが見られました。

当村は、村の面積の約半数一、七九一ヘクタールが地すべり防止区域に指定され、これらの区域では、土地の保全を図るため地すべり防止工事や復旧治山工事が長年にわたり巨費が投じられ、現在も工事が進められています。これらの区域内では切土、ため

池の造成等を行う場合、法律により開発行為が規制され、たとえ私有地であっても制限を受けることとなります。

また、指定区域外であっても、水田養魚池に供される池は、水深七〇センチ以下となっています。これ以上のもは、地目変更の手続きが必要となります。いずれも許可を受けてから行ってください。

なお、地すべり指定地内の開発行為の制限及び区域の確認は役場建設課へ、農地転用は農業委員会にそれぞれ相談をしてください。

平成五年用 家計簿



平成四年用(明るい生活の家計簿)の申し込みを受け付けます。生活改善グループなどが使用し、好評を得ているものです。

▼申込期限 九月末日
▼申込先 役場総務課(電話可)
▼価格 一冊 二八〇円(申込数により変わる場合があります)

21世紀のエース

おそびだち航



山古志村恒例のお盆の成人式が今年も八月十四日に村民会館で行われました。新たに成人の仲間入をしたのは昨年より九人多い五十二人です。頼もしく成長し、男らしく、女らしく、なった新成人三十一人が軽い装いで集いました。式典の中で酒井村長は「私達の先輩は、敗戦という廃虚の中から立ち上り、歯をくいしばって頑張っ

てきました。皆さんが生れた四十六・四十七年は、日本の国が大きく発展したなかで育ちました。それから二十年、急激な高齢化社会を迎えている今日、自分の暮しを守ると共に、多くのお年寄を支えてほしい」と述べていました。

来賓の方々からお祝いや激励の言葉が送られて。新成人を代表して星野涉さんが「何事も前向きに挑戦し、幾多の困難や挫折を乗り越え、自己の完成に努めます」と決意を述べていました。

式典後、新成人みずから企画したボウリング大会が小千谷市内のボウリング場で行われ、チーム優勝、そして個人優勝を目指し、次々とピンを倒していました。



その後、再び村民会館に戻り昼食会が開かれ、久しぶりの再会に話がはずんでいました。

◀ ナイスストライク



坂牧真由美さん

立派な大人になって楽しい人生を送りたい。



長島美代子さん

何事にも積極的に取り組み頑張ります。



斉藤 晴栄さん

人に信用される成人になりたい。



星野めぐみさん

成人式を機に改めて自分を見直して頑張っていきたいと思えます。



藤井 勝さん

二〇歳になって社会人として自分の言動に責任を持ち村の将来を担う一人として頑張ります。



いつまでも健やかにな

9月15日敬老会

苦難の時代、多年にわたり社会に貢献してこられたお年寄りを敬うとともに長寿を祝い、今年も九月十五日「敬老の日」に敬老会を村民会館で行います。

ことし敬老会に参加いただく、七十五歳以上のお年寄りの皆さんは、六人です。当日は式典の中で米寿・喜寿に該当する人に、それぞれ記念品が贈られます。また祝宴も行われ、アトラクションもあります。参加されたみなさんから、日ゆつくりとくつろいでいただく内容で計画されています。多数の参加をお待ちしています。今年度白寿(九十九歳)を迎えられる方

◎五十嵐イシ (池谷)
今年度米寿(八十八歳)を迎え



- られる方
- 風間 友一 (種芋原)
 - 小池 キチ (桂谷)
 - 五十嵐タツ (梶金)
 - 松井松次郎 (木籠)
 - 松崎 キミ (小松倉)
- 今年度喜寿(七十七歳)を迎えられる方
- 種芋原
坂牧傳作、佐藤龍蔵、坂牧太郎、坂牧仙治郎、川上興吉、坂牧銀作、坂牧ミヨ、樺澤忠吉、樺澤辰一
- 虫 亀
田中忠志、長島ハル、五十嵐ナカ、松田喜蔵
- 三ヶ
齊藤クマ、齊藤ハツ、畔上トイ、畔上由松、藤井キヨ、川上キイ、川上ツツ
- 竹 沢
渡辺シズ、佐藤ナミ、星野ミス、星野サヨ、星野タミ、星野仲次郎、高野清治、小林富二、星野徳治、小池ムラ、高野政司
- 東竹沢
関治三郎、藤井辰造、上田ヨシ、上田イチ、松井スイ

女性ナンバーワン



五十嵐イシさん(98歳)
白寿の祝いをやっていた
だきましたと健在でした。

長寿お祝い申しあげます

山古志村長寿番付

(上位30人、敬称略)

順位	氏名	生年月日	年齢	集落	世帯主
1	五十嵐イシ	M27.3.14	98	池谷	利雄
2	川上キシ	29.2.22	96	竹沢	治
3	酒井ヒロ	31.1.7	94	虫亀	彦四郎
4	坂牧ソノ	31.3.15	94	種芋原	駒夫
5	長島ヨト	32.9.20	92	虫亀	辰太郎
6	坂牧ヨト	32.12.31	92	種芋原	晟治
7	五十嵐ヨセ	33.9.30	91	虫亀	与作
8	五十嵐ソヤ	34.1.15	91	梶金	加一
9	川上市蔵	34.5.2	91	梶金	正吾
10	佐藤タカ	34.10.18	90	種芋原	誠一
11	斉藤利徳	34.10.29	90	虫亀	本一人
12	長島イノ	35.6.10	90	虫亀	平一郎
13	五十嵐富作	35.7.19	90	虫亀	本一人
14	長島シノ	35.7.30	90	虫亀	本一人
15	渡辺栄吉	35.8.1	90	竹	本一人

男性ナンバーワン



五十嵐市蔵さん(91歳)
家の周りの草取などきま
まにやっていますと話さ
れていました。

順位	氏名	生年月日	年齢	集落	世帯主
16	佐藤タケ	M35.8.20	90	虫亀	朋子
17	高野ヲヨ	35.12.14	89	竹沢	吉郎
18	長島トン	36.1.29	89	虫亀	格
19	関マチ	36.7.7	89	梶金	登志雄
20	長島兵二	36.11.15	88	虫亀	本一人
21	星野熊蔵	36.12.5	88	菖蒲	本一人
22	藤井フジ	37.3.20	88	梶金	春雄
23	風間友一	37.4.15	88	種芋原	本一人
24	五十嵐タツ	37.10.23	87	梶金	キミ一
25	小池キチ	37.11.15	87	桂谷	孝一
26	松井松次郎	37.11.15	87	木籠	治二
27	松崎キミ	37.11.27	87	小松倉	六太郎
28	片桐トメ	38.5.2	87	橋本	久保男
29	五十嵐仁作	38.7.9	87	大久保	富
30	五十嵐ハナ	38.7.10	87	虫	富



結婚してすぐに兵隊に、子育てにおわれた。健康でこられたのがなによりです。小川三郎・マサさん(種芋原)

結婚



長崎の原爆のキノコ雲を天草で見た。五〇年長いようで短くも感じられる。坂牧博作・ハルさん(種芋原)

今年、村内で結婚を迎えられるご夫婦は七組昨年十組で、戦時中に一緒にいられた方々です。当時は入籍手続きも間断ならず、既に結婚五一年目というご夫婦もおられました。敬老会の席でお祝いの記念品が贈られることになって

おめでとうござります



結婚後三〇年はいそがしきにおわれた。あつというまの五〇年でした。小川与一・ヨノさん(種芋原)



戦時中のため大変な時代でした。結婚式は夜間に行った。田中清一・ハルさん(虫亀)



結婚して半年で兵隊に、長男も五〇歳になる「オカメさん」ヒョットコにきてとも白髪「佐藤武一・テイさん(虫亀)



戦時中の苦難が一番印象に残っています。斎藤誠作・ナカさん(池谷)



物ない時代。子育てに苦労が思われる。松井兼吉・ソデさん(木籠)



夏のミステリィ ゆり三七ヶ開花 虫亀の五十嵐フミさん(久四) 方の畑に咲いた山ゆり。一つの球根から五本の芽が出て、成長するにしたがって、三本は平たい茎(幅14、厚さ3mm)となり、残りの二本は普通の茎でした。 平たいの茎で一番多くの花を付けたのは数えたところなんと二〇個も、五本を合すると三七二個となりました。 五十嵐さんは「オリンピックの年で五輪と言ったこともないでしょうが、あまりにも多くの花を付けたのでビックリしました。めずらしいので近所に一本あげました」と話されていました。



金子知事 ふれあいトークで 山古志村を視察



七月三十一日、長岡市の市民体育館で、「知事とのふれあいトーク」が開催され、長岡市、栃尾市、越路町、小国町、山古志村から集った一、二〇〇人が、金子知事との意見交換の場に臨みました。 この催しは、「県民の声を県政に反映させよう」と県が広聴活動の一環として県内各地で開催しているものです。県民からの質問・要望に知事が直接答えようというので、山古志村から十五人余りが参加し、種芋原の小幡国作さんが

国道三五号線(山古志-長岡間)の早期開通について意見を述べました。

これに対し、金子知事は「蘆平-種芋原間の事業費は、およそ一〇〇億円で、今年度を含め約四〇億円を投資している。今後六〇億円掛る訳で、直ぐというわけにはいかないが、速くなるよう努力したい」と答えていました。 さらに會田土木部長は「竹之高地トンネルは堀削が完了。次は奥の院トンネルそして橋を架けて、



葎時トンネルとなる訳ですが、まず奥の院トンネルと橋を完成させるように頑張ります」と補足してました。

また、これに先立ち、午前中山古志村の錦鯉養殖施設に立ち寄った金子知事を附近の住民六〇人余りが出迎えていました。同施設を酒井村長、関漁協組合長の案内で見学しました。

優雅に泳ぐ鯉に「見事なものですね」と感心するとともに、施設内の設備を尋ねられていました。

持久力の祭典

ナイトワーク

八月八日夜半から九日早朝にかけて、第七回サイバイブナイトウ



▲花火を合図に出発

オークが行われ、二十八キロメートルの道のりに「完歩」を目指して昨年(二〇二八)を上回る一三人が挑戦しました。

出発の前に軽い準備体操で体をほぐし、九時号砲の花火を合図に一斉に役場前をスタート。今年のコースは山中経由で浦柄、横渡、小千谷大橋を通過して小栗田に入り本町通り、小千谷駅前を通り山古志村に戻るもので、途中三か所チェックポイントが設けられていました。

一番速いチームは中学生男子六人の皆さんで驚異的なハイペースでゴールイン。所要時間は四時間十七分でした。その後、次つぎとゴールインし、最終組は八時間四十五分かつて五時四十五分に到着しました。

実行委員会の設定した時間差による順位は次のとおりです。



▲最も速かったチーム



▲3位の石原さん親子



▲2位の和田・篠田さん



▲優勝した樺澤さん

▼優勝 樺澤大輔さん(七分) ▼二位 和田仁美・篠田かおるさん(七分) ▼三位 石原十八・明美・綾さん(十三分) また、トップ賞は斎藤昇、小林政勝、松井幸治、川上慎司、高野与志宗、石原徹さんのグループでした。

村P研究集会

父親の権威低下?

第二十二回山古志村PTA研究会が八月二十一日村民会館で、村PTA連絡協議会の主催で開かれました。

「家庭の教育力を高めるためには、家庭・学校はどうあればよいか」を研究主題に掲げ、父・母と先生たち一五〇人余りが集りました。

開会式後、四つの分科会に分かれて、各テーマに基づき討論が進められていました。

A分科会のテーマは「子供に基本的な生活習慣を定着させるために、父と母の役割はどうあればよ



①我が家流のしつけがあるか、しつけの原点は親の生き方。親がどのような家庭を目指すかにある。あまやかすことと大事にすることは違う。先を見通したしつけにするのは父親ではないか。
②自分の出来る範囲は自分でする習慣を身につける必要がある。三回の食事はきちんとする。親にいわれず起きる・寝る。精神的なたくましさは非常に弱い、自立していないところによる。
③学校週五日制導入後の問題
父・母が子供にどのように力をつけさせるか。家庭での取り組みが問われてくる。
また、分科会終了後、長岡市内



▲講師の吉井さん

に吉川国際特許事務所を開設している吉井昭栄さんを講師に迎えて、「創造性豊かな子どもを育て方」と題する講演が行われました。

生涯学習情報コーナーNo.6

「少年体験教室」が無事終了しました。今回は、その概要と参加した児童の感想を紹介します。

7月31日～8月1日 泊二日
参加児童
村内小学校5、6年生全員
男34名 女29名 計63名

◎活動の拠点
新潟市大畑少年センター
◎主な活動
一日目 7月31日(金)
・開講式 班活動 (村民会館)
・食事材料買い出し(本町市場)
・新潟坂井輪地区青空冒険塾の子供達と交歓レク大会 (センター体育館)
・入浴(銭湯)
・夕食作り (カレーライス、サラダ)



「本町市場で夕食の買物」
班活動(清掃 感想文)
閉講式
◎活動終了後の児童の感想
・買い出しにいったときも、夕食を食べるときも、班の人みんな楽しんで仲よくできたのでよかったです。青空冒険塾の二人と友達になってよかったです。
今日は、絶対について夜しようと思っただけ2時45分に寝てしまっただけよかったです。
(6年女子)
・今回一番楽しみにしていた少年体験教室で友達がたくさんできてよかったです。一番よかったことは、夜みんなと枕戦争をして布団も枕もぐちゃぐちゃになってしまっただけで大変でした。明日のフィールドワークでいろいろなことを体験したいです。(6年男子)
・今日のフィールドワークで初めて迷子になりました。ドキドキしましたが、みんな協力して、無事に帰ってこれたのでよかったです。またやってみたいです。
(5年女子)

商業統計調査 (一般飲食店)

一般飲食店の分布状況や規模別地域別の実態を調べることを目的に、十月一日を基準として実施されました。調査員は県知事から任命された坂牧兵衛さん(種芋原)です。後日、伺いますので、ご協力をお願いします。

「新しい友だち」がいっぱい

・講演会(ホールファリスさん) 二日目 8月1日(土)
・朝のつどい(西大畑公園)
・朝食準備
(フィールドワークの計画作り)
・フィールドワーク(新潟市内をグループごとに探訪)
・班活動(清掃 感想文)
・本町市場で夕食の買物

わが家の

美春ちゃん

平成2年5月18日生まれ 坂牧雅良・レイ子さん(長女)

—種芋原—

私のあだ名はママシの美香。体が小さいからって馬鹿にしないでよ。喧嘩なら負けないわ、勿論、噛みつき殺法よ。だけど苦手な人がいるの。その名は「おまわりさん。悪い子になるとおまわりさんに電話するぞ、が家の人の口癖。良い子になるから勘弁して!おまわりさん。



スター

大腸がんをテーマに 地域座談会

七月十六日から八月二十五日にかけて、市内の七会場地域座談会が開かれました。健康への関心が高まっている昨今ですが、近年都市部で増加傾向にある「大腸がん」について、みなさんから正しく理解していただき、早期発見のきめとなる検便検査(潜血反応を調べる)二日法など、長岡中央総合病院富所先生を迎えて行われました。

八月二十日の間内平会場では、間内平・菫浦・山中集落から三〇人余りが参加してこの講演に聞き入っていました。



富所先生は講演の中で、大腸がん(直腸がん・結腸がん)は二〇一〇年には胃がんを抜き、がんのトップになるものと見られている。また、同病院でも結腸がんの患者が近年増えている。その要因は食

生活によるもので、植物繊維食品が不足していると指摘し、そのため、野菜、キノコ、海苔などを毎日食べるようにと話されていた。そして、参加者に問いかけ、この検査を受けた人が少ないことに驚いていました。
また、この講演に先立ち、素人漫才が保健推進員等小川弘子、松井房江さんの二人によりユーモアを交えて演じられたこやかな座談会となりました。

健康コラム

今月の担当は 内藤保健婦です

「頑張れ保健推進員」

今年の四月から役場と住民のパイプ役として初めて保健推進員が誕生しました。区長の推薦を受けたとはいえほとんどの人が「何故私になるの」「こんな大役できないわ」などと言っていました。あれから五か月。保健の方はもちろんのこと健診相談等の協力、住民への文書配布などを行ってまいりましたが、これでいいのかなと私達も試行錯誤をしていたのです。

先日、末に各地区で保健の方に協力してもらい健診の事後指導会

を行いました。住民のみなさんの前でいさつできない...と言いつつ今まで感じたことなどを聞いてみると「自分の家族だけではなく担当地区にもこんなに糖尿病の人がいたんだと思えるようになった」「声をかけてもらえただけで嬉しい。困った事があつたら何でも言っただけでいい。確実に保健として動きだしている内容だったので。指導会の様子もみています。自分地区の指導会だから私に責任を持つと言っただけで私に責任を感じました。私たちが心配することなく保健は二歩づつ自分たちの役割を上げていっているようです。住民からも「おらこの保健推進員はいいかあちゃんかなってくれたのお」などの声がかかるようになってきました。
保健の活動は本当に深く深いものがあります。特にこれからの老人問題・成人病予防には大切な役割を担う地域リーダーになると思われます。「失敗しながらも何とか頑張っています」と一人の保健の声に私は心温まるものを感じました。
住民に信頼され、住民を引っばっていきけるような保健推進員に成長するようにこれからも頑張りたいと思います。